



平成30年3月13日

各 位

会社名 日本金銭機械株式会社
代表者 代表取締役社長 上東 洋次郎
(コード番号：6418 東証1部)
問い合わせ先 取締役上席執行役員
経営企画本部長 高垣 豪
電 話 (06) 6703-8400 (代表)

棚卸資産評価損の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり平成30年3月期通期の業績予想値を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成30年3月期(通期)連結業績予想値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主 に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	30,000	1,150	1,200	1,480	51円76銭
今回修正予想(B)	29,600	1,110	950	920	32円18銭
増減額(B)－(A)	△400	△40	△250	△560	
増減率(%)	△1.3	△3.5	△20.8	△37.8	
(ご参考)前期実績	30,230	1,752	1,533	1,012	37円71銭

2. 業績予想の修正の理由

昨年11月13日付にて、「特別利益・特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」、「「新中期経営計画」ローリングプラン(Ⅲ)の策定について」をお知らせいたしました。現在、収益の確保、収益率の向上に向けて、経営課題の解決・整備・見直しを図り、各重点施策の推進に取り組んでおります。

「既存事業領域の収益性の改善策」につきましては、海外のゲーミング事業(プリンター事業を含む)、並びに国内外の商業事業は厳しい競争にありながらも、積極的な展開を想定しております。他方、国内の遊技場向機器事業を取り巻く環境は、遊技客の若年層の減少、レジャー産業の多様化、射幸性の規制強化などを背景として、引き続き、市場環境の低迷が続くものと想定しており、遊技場向機器セグメントを中心に再構築プランとして抜本的、且つ多角的に検討、見直しを行ってまいります。

今般、昨年11月13日付にてお知らせしましたアミューズメント事業(ゲームセンターの運営)の廃止に引き続き、新たに拠点の統廃合をはじめ、効率的な人員の再配置、固定費の削減策等、経営の効率化を推し進めるとともに、さらに財務内容の健全化を図るため、遊技場向機器セグメントに係る棚卸資産の次年度以降の販売見込みと照らし合わせて、評価減(売上原価4億5千万円)の計上を見込んでおります。

また、最近の為替相場の動向を反映した為替差損(営業外損益)2億5千万円の計上に加え、米国での訴訟和解金に係る法人税等の見積り差異2億円、米国法人税制改正に伴う法人税等調整額1億円の計上を見込んでおります。

なお、新中期経営計画のうち、他の重点施策であります「新規事業領域の拡大策」につきましては、アジアを中心とした「グローバル・コマーシャル事業」の販路拡大策、新製品の開発強化による市場拡大策と併せて、長期ビジョンを視野に入れた第4の新しい事業の創造に向けて、全力投球し着実に実行し、当社グループ全体の企業価値の向上を目指してまいります。

3. 遊技場向機器セグメントを中心とした再構築プランの概要

- ① 営業・カスタマーサービス拠点の統廃合と外部経費の削減
- ② 組織・機能の見直し
- ③ 開発投資の効率化
- ④ 採算性を重視した棚卸資産の健全化
- ⑤ 当該事業の管理間接部門のスリム化、及び本社管理部門との協業化による業務の効率化

4. 配当予想

平成 30 年3月期の期末配当額については、期初の公表値からの修正は予定いたしておりません。

以 上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。